

# 小沢氏の本質

支持者宛の便箋11枚にも及ぶ長い手紙の中で、和子夫人は、昨年3月の東日本大震災後の小沢元代表の言動について触れ、「このよ  
うな未曾有の大災害にあつて本来、政治家が真っ先に立ち上がらなければならぬ  
い筈ですが、実は小沢は放  
射能が怖くて秘書と一緒に

逃げだしました。岩手で長年お世話になった方々が一番苦しい時に見捨てて逃げだした小沢を見て、岩手や日本の為になる人間ではないとわかり離婚いたしました」と書いています。

手紙では、小沢元代表の愛人や隠し子の存在についても触れている。8年前に隠し子の存在がわかったとき、小沢元代表は和子夫人に謝るどころか、「いつでも離婚してやる」と言い放ち、和子夫人は一時は自殺まで考えたとも記している。

「国民の生命を守る筈の国会議員が国民を見捨てて放射能怖さに逃げるといふの

です。何十年もお世話になつていての地元を見捨てて逃げるといふのです」

和子夫人はこうも綴っている。

「かつてない国難の中で放射能が怖いと逃げたあげく、お世話になった方々のご不幸を悼む気も、郷土の復興を手助けする気もなく自分の保身の為に国政を動かそうとするこんな男を国政に送る手伝いをしてきたことを深く恥じています」

現在、消費税増税法案の

採決をめぐって、小沢元代表は造反をちらつかせて野田政権を揺さぶっているが、和子夫人の手紙はそうした政治情勢にも大きな影響を与えそうだ。 1週刊文春

日本の政治に未来はない。典型的な詐欺師・オーム麻原以下だ。頭は腐り切っている？。欲では切れるが本音は単なるカネのエロジ。私欲だけの痔ジではないのか。少しは期待したが、災害地の国会議員で常に不可解だったのが分かった。正に日本男子が試される。

ぼつたくりバーでしょう。

買うようなものです。だとすれば大切なのは商品に対する金の払いかたではなく、商品の質でしょう。」

語っています。

年金にみるべきは加減さ  
は未だに解消されていません。  
今も日本は国債で米国債を買  
い続け、円高で毎日消え続けて  
います。

日本人は税金を負担だと考  
えるのに対し、ノルウェーの起業  
家たちは税金の支払いを「購入」とみなす傾向にある。

政府と役人を信頼している。  
我が国の内閣支持率が低迷、  
国民の大多数は昔でも野田政  
権でも嫌っています。支持する  
のは財界と米国です。

## 税金は投資か

国民に付ける薬には、留  
まることなき消費税増税が  
処方されます。

「それでも離婚しなかったのは、小沢が政治家としていざという時には、郷里と日本の為に役立つかもしれないのに、私が水を差すようなことをしているのかという思いがあり、私自身が

別のノルウェーの起業家は税金を「一生を通じての投資」と

本末転倒とはこのことでしょう。



(有)西川経営オフィスサービス  
中村会計  
事務所便り  
2012年6月20日 (水) NO. 256  
地域から明るい未来を作ろう